

5-12

五 一二 受信 〇一四五  
開始 〇四五〇  
了 〇五二五 電 〇五八一〇 談 訊

至 急

共 符

東京、高雄各通信隊・聯合隊

沖特根P・一航空隊P・宮古島警備隊

機密第一一〇九三〇番電 二分ノ一

發 石垣島警備隊司令

宛 高警長官

九日撃墜機(四〇英國)捕虜質問調査報告

機動部隊編成制式空母三(ヒタトリアス・クルシアアベンジャース)

特空母三 艦隊二 艦隊二

海軍シンク外シヨリ近世指揮官レイター。

電信課註 本電二分ノ二未着

通六五二〇 天二〇々六(四五七二、五七)高二放 午為(波田野)

昭和廿年五月拾貳日

5~11



五 一一 受信一八三五六 譯了一九〇五 電〇五七八一 作 概

急 沖 根 佐 鎮 P P

南大東高派遣隊

設密第一一一〇二五番電

戰聞速報第二五號

五月十日一六三〇敵艦上機四二東方ヨリ來襲主トシテ飛行場向爆

三二二五〇敵巡洋艦驅逐艦(艦種確認困難)八隻二四〇度方向ヨリ近

接一〇軒附近ニテ約一五〇〇發主トシテ飛行場砲撃二三二〇二八

〇度方向ニ去ル

三一九〇〇ヨリ觀測機二機常時本島上空ニ在リテ照明彈口ケツト砲ニ

テ爆撃戰果ナシ被害輕微。

通六五四九 才一六(七四六〇RC) 大島部隊

仙波(松井)

昭和廿年五月拾貳日

5-11

五二 受信一七三〇五 譯了一八一〇 電〇五六五一 作 概

至 急 臺南空地



五基地航空部隊戰國概報着信艦所  
一三航空艦隊口・一機動基地航空部隊△

機密第一二一〇三六番電

發 彩攻擊部隊指揮官

戰國概報(十日 十一日)

一陸偵四機(五七〇一 一機五七〇二 三機)新竹基地ニ前進二機〇

三〇〇爆撃〇六四〇歸着二機自操水平機故障ノ爲攻撃ヲ取止メ〇七

三〇新竹ヨリ歸着

二戰果一機北飛行場彈着着ルモ效果不明一機雲多ク目標ヲ發見シ得ズ

廣良間列島敵上陸地獄ヲ爆撃效果不明被害ナシ

三、銀河一機一五〇〇發進セルモ發動機不調引返ス。

通六二六二 目一五ケ一一(一一三四七、五五〇)五五〇B放 新倉(川口)

昭和廿年五月拾日

11-5

1470

五 一 一 受信一六〇二 譯了 一六四五 電〇五五八九 作 概  
作戰緊急



鹿屋航空基地

宮崎航空基地

機密第一一二二四番電

七六二部隊戦闘報告第七號 (五月十一日)

沖繩泊地附近敵艦船攻撃艦銀河一六型攻撃艦二六三飛行隊四機攻撃  
撃第五〇一飛行隊四機計八機〇五二〇一〇六二五宮崎基地發進戰果  
被害正規空母ニ對シ突入確實二機艦種不明ニ對シ突入略確實一機

通六二三三

呂一Bケ十一 (七八七五KO) 一機動基地航空部隊放

田中 (海瀨)

昭和廿年五月拾貳日

5-11

141

五 一一 受信一九三五  
譯始二〇五五

譯了一〇三五 電〇五八八

昭和廿年五月拾貳日



一機動基地航空部隊戰團概報着信艦所・關東航空隊

②

鹿屋航空基地

機密第一一一二二三二番電 三分ノ三

四(1)天候沖繩本島附近天候曇雲量七乃至九雲高一〇〇〇乃至一五〇〇

○視界五涅ミストアリ途中天候曇雲量八乃至九雲高一五〇〇乃至二

〇〇視界一乃至二杆

(四)〇六〇〇P I 五一 二機高度七〇〇〇ニテ直衛我ヲ追跡セリ。

電信課註 本電三分ノ二既配布

通六三五八 呂一Bケ七(七八七五KC) 一KFG B放 長谷川(岩崎)

作

五 一 一 譯始一八〇〇七 譯了一九四〇 電〇五七五〇 五〇

昭和廿年五月拾貳日

一機動基地航空部隊戰鬥報告信處所。關東航空隊

機密第一一一二二三九番電 三分ノ二

關東航空隊戰鬥報告第二一號 (五月十一日)

一 沖北飛行場砲擊機十機發進 (内天候曇突破出來ズ引返セルモノ三機) 發進時刻〇二三〇ヨリ  
二 砲機發進後 故障ノ爲引返セルモノ三機) 發進時刻〇二三〇ヨリ  
三 砲機發進時刻〇四三〇ヨリ〇六〇〇

三 戰果

(イ) 北飛行場攻撃セルモノ一機滑走路ニ命中 (二十五番陸) 炎上一箇所

(ロ) 中飛行場攻撃セルモノ二機 (二十五番陸) 時限一乃至四時間誘爆)

一機動線敵夜戦ヨリ射撃ヲ受ク被弾一機。電信誤註 本電三分ノ二未着)

通六二七五 呂一五七七 (七八七五) (RKC)

一 K F G B 放

築、安彦 (三石)

(五)

五 一一 受信一九四四 譯了二〇四五 電〇五六九三 本〇  
緊急 喜界 航空基地



第一機動基地航空部隊  
大島防備隊

機密第一一一七五二一分ノ二

一、本日一五三〇以後只今迄六四乃至八機ヲ以テ本島周邊ヲ哨戒シ  
ツツアリタルモ極メテ低調ニシテ時々機影ヲ認ムル程度ナリ  
ルモノ四機鎗撃セルモノ八機ノミ  
二、戦果 被害ナシ滑走路長サ九〇〇米幅七〇米使用可能  
三、當基地ニ運搬シタル味方機ニシテ四式戦一機(燃料補給ノ上直ニ出  
發)機一機(七二一空)一機(機動機不調出發セズ)一七二〇。

通六三九〇 於十六(七八七五)一KFGB 山本、武原(雨谷)

1473

5-11

昭和廿年五月拾貳日

5-11/12

五  
一一二  
受信二二三三三  
譯始〇〇三〇  
譯了〇三〇〇  
電〇五八八八  
譯  
迅

緊急

喜界航空基地

東京通信隊・聯合通信隊口・一機動基地航空部隊口

大島防備隊

機密第一一一七三五番電 二分ノ一

捕虜訊問ニ依ル機動部隊ニ關スル其ノ後判明セル事項左ノ通

一「シヤングレラ」ハ四月二十二日「ウルシ島」出陣二十三日「ヨ

ータタウン」ラングレ」インデペンズ」ト相次デ出陣

ニ沖縄及喜界島基地ヲ攻襲續行中補給部隊洋上補給（燃弾）同回ヲ

實施

（電信譯註 本電二分ノ二末着）

通六四五  
一B分七（三九三七五KG）一KFGB放

高橋（堀川）

昭和廿年五月拾參日



1475 5-11, 12

五 一一一 受信二〇三〇五〇三 謝了〇三〇〇 電〇六〇〇七 誅 訊

緊急

● 喜界空基地

● 東道・聯合艦隊口・一機動基地航空部隊

● 大島防備隊

機密第一一七三五番

二分ノ二

三 本行動中飛行機發着時以外ハ概ネ速力六節乃至八節ヲ以テ之字運  
動ヲ行フ隊形ハ戰艦二隻空母ノ前方一隻ヲ後方ニ配ス 輪形陣  
三 本空母群中離逐艦二隻四月二十九日同一隻五月三日何レモ飛行

機ノ攻撃ヲ受ケ沈没セリ

四 「シヤングリヲ」ノ呼出名「シヤール」ニ「ター」ナリ。

一 電信誤註 二分ノ一基配布

通六四五五 呂一Bケ一(三九三七)五RO(一KFG) 石垣(田中)

昭和廿年五月拾參日

5-12

五 一二  
作戦緊急

受信一一三〇  
譯始一二一九

譯了一四三〇

電〇五九七五  
〇五九七五

整基

昭和廿年五月拾參日

一 航空 艦隊 P

古仁屋航空基地

聯合艦隊 P 一機動基地航空部隊各ト・佐領 P 詫間空

機密第一一一八三五番電

五分ノ二、四

(ロ)久根津基地送信機三臺受信機六臺トシ大島防備隊ヨリ電信員四名暗號員四名ヲ借兵十三日中ニ設備完了香ノ浦基地電話ニテ久根津及大島防備隊ト連絡

(ハ)飛行機引込線(潮汐ニ影響セリ發着可能且飛行機ノ温存位ニ整備力ヲ著ク増ス)十五日中ニ完成久根津八個吞ノ浦二個(燃料

▲九一〇一五萬立▲八七〇三萬立(彈二五番一號一六〇發他ニ

二五番二號三一六發(雷約五〇〇發有リ)

通六六六五〇 呂一Bケ十一(九八三〇KO)佐二放 久保田(川崎)  
六六六五 一〇一七〇KO)高雄空基地 望月

三、奄美ハ五月下旬迄クトモ六月上旬ヨリ梅雨トナリテ飛行機ノ夜  
 間行動ニハ大ナル支障ヲ生ズルヲ例トス（右ハ古仁屋基地指揮  
 官ノ言）又今期所要兵力期間等ヲ考慮シ。

（電信課註、本電五分ノ一、三、五未着）

昭和廿年五月拾參日

受信 一三〇五 譯始 一三二五 譯了 一五五〇 電 〇六〇〇六 整 基

作戰緊急

一 航空艦隊

古仁摩空基地

聯合艦隊。佐鎮。託蘭空。一機動基地航空部隊各

機密第一一八三五番電 五分ノ三

(一) 補用品類補充及防空壕等ノ設備等十五日中ニ完了

二、右對索中(檢定期日十五日)蓋當リ現狀程度(一日平均三〇機)

來襲狀況ニ於テハ實動率大ニ減退ヲ見ザリシニ久根津基地ニハ

機呑ノ浦基地五機計一三機程度伏勢使用可能ト認ム。

一、電信 本電五分ノ三四既配布五分ノ一五未着

通六六六 九 呂一Bケ四(一〇二三五KG) 高空基地 木光留中

昭和二十五年五月拾參日

五 一二 受信 一三四六 譯了 一六四八 電 〇六〇六〇 終 基

作戰緊急

古仁屋航空基地

一 駐 空 艦 隊 口

聯合艦隊口・佐領口・許間空  
一 駐 基 地 航 空 部 隊 各 口

機密第一 一八三五番電 五分ノ五

當隊ハ十五日可動全力ヲ當基地ニ集結攻撃ヲ實施致度

(四) 三〇二種基地ヲ使用サレル場合ハ常駐五機トシ各ノ需ヲ使用セラレ

度進出ノ場合ハ機秀ナル整備員二〇名電信員四名程度進出セシメラレ

タシ。

一 電信註 本電五分ノ三四既配布五分ノ一未着

通六六六四 月一日午十一(一〇一七〇) 高雄空 (猪 狩)

5-11, 12

昭和廿年五月拾參日

五 一一一 受信二二〇〇五 譯了〇三一〇 電〇五九三八 航作概本〇

緊急



五基地航空部隊

五基地航空部隊臺灣方面飛行機配備基地

機密第一一一八四二番電

石垣基地戰術概報(五月十一日)

〇七一五一、八二〇、六六一、三〇、四四一、七七

BUI、二三計七〇來襲副滑走路突出地ヲ專ラ銃爆撃投擲致

六副滑走路被彈二五(六番以上)

二副滑走路使用不能(明日〇七三〇修理完了)

三搭乗員三名(三)機材一八二五 五機(〇)

四敵機來襲小東沙島方向(三箇編隊)來襲六五度一二〇折脫去八

〇度一四〇折。

通六三九三 島一B夕一、電機八三、電機(野)小機機

5-12 1481

作

五二二 受信開始 〇〇一一三五 譯了 〇一五〇 電 〇五七六五 航作 本機 〇

久米島見張所

佐鎮區敵情着信艦所

機密第一一九〇〇番電

十一日〇五三〇一八一〇ノ間F六F遊ダグラスP四機宛九〇度ヨリ  
來襲常時上空旋回〇七一〇ヨリ約二〇分間全島ヲ銃撃九〇度方向ニ避  
退ス我ニ被害ナシ。

通六五三八 於一五(四九一五KC)佐二放 森津(福田)

昭和廿年五月拾貳日

5-12

昭和廿五年五月拾貳日

五 一 二 受信 〇〇三〇三〇 譯了 〇四一五 電 〇五七六八 課 訊

至 急

● 天一號作戰部隊

● 大海參一部・聯合艦隊口

● 第六航軍派遣通信隊

機密第一一一九〇二番電 二分ノ一

第八飛行師團 五月四日先島群島來襲ノ機動部隊俘虜情報

一 兵力空母三 特空母 B二 C六 D一二

二 目的先島群島飛行場ノ制壓破壞

三 行動期間自五月十日 至五月二十日(二十日以後ハ本機動部隊ト交代)

(電信課註 本電二分ノ二未着)

通六四八二 呂一五ヶ一 (四九一五KG) 佐二放 志澤(阿波)



5~12



五

一一

受信開始 〇〇五五〇

譯了 一〇一〇

〇〇

〇〇五五九二七

作概

一機動基地航空部隊天戰員報着信艦所

機密第一一九〇九番電 五分ノ一三四

一五〇天菊水六號作戰戰國概報 五月十一日

二十日夜間ヨリ十一日黎明ニ亘リ陸攻八機夜戦一〇機櫻花二機瑞雲

六機飛行場攻撃重爆二機艦船攻撃 北飛行場ヲ攻撃セルモノ陸攻

五機夜戦一機二二〇〇夜戦沖繩中飛行場ヲ攻撃セルモノ陸攻一機

夜戦二機(二五番陸時限一四時開始使用)全彈 走路ニ命中重爆

及櫻花一機天候不良ノ爲燃焼一機故障ノ爲引返ス 彗星隊戦果

後報

通六四八三・六四八九

月一三分世(三九三七五KC)一五〇機

兒玉・和田(金森)

昭和廿年五月拾參日

三十一日早朝發進零戰制空 約六五機極光八機 (八〇番二裝備) 九七式

艦攻五機水偵六機花四爆戰一 天山一〇ヲ以テ 緬泊地制空攻ニ艦船

攻撃ヲ實施航空母艦突入ヲ報ゼシモノ四機極光二爆戰二艦種不詳ニ突

入略確實ナルモノ二機 (極光一爆戰一) 櫻花發進ヲ報ゼシモノ一

(以下五分ノ三既配布)

一隊右攻隊ニ協同シ彩雲ヲ以テ〇五〇〇發進海峽東方ヲ索敵〇八〇〇符

略索敵攻撃圏内ニ空母ヲ含ム機動部隊ヲ發見索敵攻撃ス 成果自己

ヲ報ジ空母ニ突入ヲ報ゼシモノ四機艦船ニ突入ヲ報ゼシモノ四機中ニ引

續キ「空母見ユ」敵部隊見ユ」等ヲ受信シツツアリ。

電信課註 本電五分ノ三既配布

5-12

五 一二

受信開始 〇〇五三九五

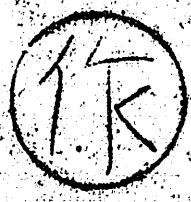
譯了 〇六二〇

電 〇五八〇〇

作

概

昭和廿年五月拾貳日



一機動基地航空部陸天戦闘機着信監所

無線艦所用共通符號

機密第一 一一一九〇九番電 五分ノ三

空母及艦船ニ雷撃ヲ報レシモノ天山各一機前記攻撃ニ策應彩雲三機ヲ以テ久米島南西方面ニ於テ遠深傷溺實施ス

三十日陸攻四機ヲ以テ列島線南東海面ノ夜間索敵實施〇三〇〇頃沖繩

東方約一〇〇連ニ空母群ヲシキ大部隊ヲ深知爆戦二六機ヲ以テ〇六

〇要進索敵攻撃決行ハ彗星一六機ハ發進時事故ノ爲取止

一電信課註 本電五分ノ三ニ四五未着

通六四九九 呂一〇ケ七(三九三七五七)一KFGB成 田中(土谷)

5-12

五 一二 受信開始 〇五五〇 丁〇六三〇 電〇五八〇八 作 概

作

一機動基地航空部隊天戰機報告信線所

機密第一一一九〇九番電 五分ノ五

一〇三〇頃ヨリハ受信感ナク(電波不感帶ニ入リシモノト推定)其ノ他不詳

四國分基地 零戦發進爆雷攻撃警星一二型五機列線内ニ突入爆彈誘爆ニ依ル被害大破炎上一七機(零戦二警星八 九九式艦爆七)戦死下士官兵一〇(搭乗員三)重傷一名(搭乗員)。

(電信課註 本電五分ノ三既配布五分ノ一、二、四未着)

通六五一五 呂一〇ケ七(三九三七、五K)一KFGG放

仙波(松山)

昭和廿五年五月拾貳日

5-2



作戦

五 一二

受信一九〇五〇〇

丁二〇〇〇 六〇九七

作戦

傍 吳空

機密第一一二一三五番電 二分

六三四空司令

本月十五日手廻シ高橋瑞雲ノ全力ヲ古仁屋ニ集結收撃ヲ行ノ線定合

本拠指揮官ハ左ニ依リ攻撃準備ヲ急カセヨ

一 在淡水瑞雲ニ於テ十五日母機攻撃後古仁屋ニ集結

二 在基隆地瑞雲整備出来次第古仁屋ニ進出セヨ

一 電信線証 本局二分又二末電

四六八三一 第一日夕十一(一〇一七〇) 高橋空

日野原( )

昭和十年五月拾參日



機動部隊一時先島群島攻撃ヲ擔當セルニ付米機動部隊ト交代後本人詳  
 細ニ開知シアマラザルモ「レイテ」又ハ「ウルシ」ニ歸還補給修理ノ上再  
 ビ先島群島ニ至リ米機動部隊ト交代スルモノナラント  
 三其ノ他「カビ」一ハ「カビ」一ヨリ優美ニシテ發着艦性能ヲ除ク其ノ  
 他ノ機好及零戦特攻ハ空中ニ於テ發見セバ隊極々テ容易ナル旨陳  
 述セリ。

一電信課註 本電區分ノ「三未着」

5-12

五 一二 受信 一一〇五四 譯了 一三三〇 電〇五九五 謀 訊

緊 急

五基地航空部隊 指揮官

菊地 航空基地

(通報表示) 五基地航空部隊戰闘概報着信艦所

機密第一一二二三五番電 四分ノ三

「インチフアチガブル」 「インドミタブル」 五月一日 「イラストリヤ

ス」 「シドニー」 ニ歸還 「フォシミダブル」 ト交代 「レイテ」 發五月

三日 先島群島着 砲撃 同日日本機ノ攻撃ヲ受ク 五月五日 六日 八日 乃至九日

湮南下特空母ヨリ飛行機燃彈補給修理實施 五月七日 先島群島着 (天候不

良ニテ上空哨戒ノミ) 五月八日 八宮古石垣攻撃 五月九日 攻撃 終了後十

日迄南下更ニ空母ヨリ補給ヲ受クル豫定 決行中ハ沖繩方面米。

(電信課註 本電四分ノ二、四既配布 四分ノ一未着)

通六六三六 呂一Bケ十一(一一三四七、五KC) 五PGB放

久保田(齋)

昭和廿年五月拾參日



5-12

1491



五 一二 受信〇四〇〇 譯了 一〇三五 電〇五八八二 作概〇  
至急 譯始〇八一〇 航本

昭和廿年五月拾貳日

東通・高通・聯合艦隊

石垣島警備隊

佐通・沖根・宮古警備隊

機密第一一二三三五二番電 二分ノ一

十一日戰聞概報

一〇七〇八〇一六一八迄延六二機主トシテ陸海軍飛行場ヲ銃

爆撃戰果撃墜撃破各一機

ニ近來敵飛行機戰意低調ニシテ空襲間隙又大トナリ九日撃墜機

捕虜訊問ニ依レバ英國制式空母最大搭載機數三〇機ナル點ヨ

リ敵飛行機ノ損耗ハ相當大ニシテ補給意ノ如クナラザルトニ

電信課註 本電二分ノ二既配布

通六五四三 天二日ケ六(四七〇五KG)高通

川本(淺岡)

至 急

受信〇三四五  
譯始〇五一四

譯了〇六二〇 電〇五七九八

作 本

昭和廿年五月拾貳日



東通・高通

佐野・沖根・宮古

石垣島

機密第一一二三五六二番電 二分ノ二

ト判断セラルルト共ニ損耗ヲ顧ミズ有力ナル機動部隊ヲ以テ當方面ヲ連  
連日攻襲シアル現況ニ鑑ミ即時兼電三〇〇機配備セバ之ガ墜滅ハ容易  
ニ其ノ目的ヲ達成シ得ベシ。

（電信誤註 本電二分ノ一未着）

五六五三三 天二Bヶ六（四七〇五）高機

菅原（猪狩）

5-12

1493

五 一 二 譯 受 信 〇 〇 九 二 〇 三 譯 了 一 〇 三 九 電 〇 五 八 五 七 作 概 〇  
昭和廿年五月拾貳日



天一號作戰部隊

沖根

機密第一二〇〇〇二番電

沖繩方面特別根據地隊戰鬪概報第四七號

十日延來襲機數一〇六機味方陣地ニ對スル銃爆擊並ニ艦砲射撃ヲ受ク

戰果ナシ被害戰死兵三名軍屬一名女子筆生一名十一日來襲延機數一

六七機銃爆擊艦砲射撃共ニ相當熾烈ヲ極ム那覇沖敵艦船ニ對スル特製

浮流機雷放流ヲ續行戰果ナシ被害戰死軍屬一名。

通六五〇九 呂一Bケ七(三七三〇KC) 沖根 筒井(岩崎)

5-12

五 一二 受信一五四二八  
緊急 譯始一五〇五

譯了一七五〇 電〇六〇四五

航作 概本〇

共 符



託 間 空  
沖繩方面特根

機密第一二一〇〇一番電

B信電令作特第一號

間救護隊 成ルベク速カニ(十三日黎明前ト豫定ス) 三〇二水偵

以テ沖繩挺身連絡ヲ實施スベシ。

註 誤字同文ニ依リ處理ス

六七〇四 呂一B(七四六〇B)カニケ谷 久保臣(吉田)

昭和廿年五月拾參日

5~12

1495

五 一 二

受信 一四五〇  
開始 一五五〇

了 一六五三

電 〇六〇二

航作 〇  
本 〇

昭和廿年五月拾参日

緊急

沖根

△



天 一 時 作 戰 部 隊

機密第一二二三六番電

發 G F 參謀

敵機ノ攻撃ハ依然トシテ T B F I ヲ主力トシ戰團機ノ數小ク F 四

U I 一 四機 F 四 F I 四 二機 S B D I 三 二機編隊ノ如キハ在空四

時間以上ニ及ブ午前ノ延機 T B F I 一 四十二機 S B I C I 一 二機

F 四 U I 一 八機 F 四 F I 四 六機計六十二機

通六七二五 呂一Bヶ七(九八三〇KC) 佐二放 尾島(標) 澤)

5-12

五 一二

受信二一九〇〇

譯了二〇二一

〇〇六六一〇〇二

作 概

昭和九年五月拾參日

緊急

五 基地 航空 部 隊 P

五基地航空部隊戰團概報着信艦所



機密第一二一四〇〇番 二分ノ一二

自

五 F G B 戰團概報第三五號 (五月六日 至五月十日間作戰)

一 經過七日八日警備地區攻撃ヲ中絶セル後連日可動全力廣良間列島

方面艦船特攻攻撃及嘉手納方面艦船雷爆攻撃ニ北飛行場攻撃ヲ實

施セリ

二 出動延後特攻 (彗星九六及九九機) 七雷撃 (天山) 九爆撃 (陸攻

瑞雲 月光) 一七

三 戰果

- (A) 特攻巡洋艦ニ突入ヲ報シタルモノ三突入セリト認メラレルモノ三
- (B) 艦沈巡洋艦一隻 艦破輸送船一隻 北飛行場炎上四其ノ他ノ戰果
- ハ敵防禦煙幕ノ爲確認セズ

四 被害未歸還八 (含特攻六)。

六八〇〇、六八三二、日一〇夕十一、一二三、五、五 F G B 片 山 (機 密)

1497 21-5

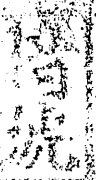
昭和廿年五月拾参日

五 一二 受信二〇三五 譯了二三二〇 電〇六丁三六 作編〇  
譯始二三〇五

緊急 一機動基地航空部隊 喜界航空基地



一機動基地航空部隊 大島防



機動第一二一八二〇番電二分ノ一

一、本日ノ來襲狀況〇六三〇ヨリ六五又ハ四〇八機ヲ以テ常時喜界  
島及大島周邊暗礁中ナルモノノ如クモ一般ニ低調ニシテ飛行場上  
空ニハ時々機影ヲ現ハル十五分乃至三十分程度在空後ニ去ルヲ例  
トス 投擲セルモノ午前延一二機午後八機ノシ(何レモ「ロケツト」  
彈)

通六八八六 於一六(三九八五機)七FGB放 山崎(機) (澤)

5-15, 16

沖繩

五

一六五 受信  
開始 〇一二二八

譯了 〇一五〇 電 〇七六四二

航作 概 〇

昭和廿年五月拾六日

傍

一四十一二一五

通電先 東六五 沖根

球電第 二三三號

第三二軍警備隊地區本日連絡機飛來セズ當方モ風波強キ爲水上機ノ  
着水困難ト認、中止セリ明十五日ノ連絡機ノ豫定至急返。

通八六一五

協作 (七八七五RC) - R R G B 放 小森 (新井)



5-15

1499

五 一五 受信 〇〇五〇一〇 譯了 一〇二〇 電 自 〇〇七七三五八五 航 作 概 本 〇

緊急



聯合艦隊司令部 五航空艦隊司令部

一四一一九三〇

六航空軍司令部第九一八號其ノ二三五六

他ノ二司偵時攻離陸直後墜落炎上人員即死ス

三本朝及午後海軍攻艦隊ノ先立掩護ノ爲可動状態ニアル全力ヲ以テ左ノ

如ク攻撃ヲ實施セリ

一四式戦一五機ヲ以テ鹿屋上空三式戦一五機ヲ以テ國分上空夫々〇五

〇〇〇〇約一時間制空四式戦八機六機ト遭遇セルモ同時ニ霧中ニ回

避セル爲交戦セシ三式戦交戦セシ共ニ我ニ損害ナシ(續ク)以下

其ノ五六

通 八二〇〇五 通 八二一九六 協 作 (五二〇〇〇) 佐 通 村 山 (五島) (一)

昭和廿年五月拾六日

碓泊中ノ航海船攻撃中、ルグラマン六九機ト交戦ニ機墜隊我が方一機未歸還

三、當軍關係飛行場ニシテ敵機ノ攻撃ヲ受ケタルモノハアシヤ 雁ノ巢

福岡 本刀洗 都城 新夕ハラナルモ飛行機及飛行場各方面損害ナシ

(但シ新夕ハラハ一九〇〇現在尙通信杜絶不明)

四、滿洲ヨリ増加ノ第四三二振武隊一五機本十五日福岡ニ到着セリ(續)。

一、電信課註 本電其ノ一、四既配布

一、東 通註 本電誤字ノ爲漏証

1501 5-17

U/c

五 一七

受信二〇三六  
譯始二一四八

譯了二二一五

電〇〇八七八八  
電〇〇八七八八

作 概

昭和廿年五月拾八日

一六〇一八四五

六航空軍情電第七二一號 其ノ二三

沖繩方面狀況司令部偵察機報(十六日一一〇〇)

「敵ハ「伊江島」飛行場ノ使用ヲ開始セリ在地中型二機(C四七D

C五)小型四七(P五一)

「其ノ三未悉」

LST又ハLCI二〇「糸滿」沖附近艦船一五中城灣C一D三。

(電信課註 本電其ノ二及其ノ四以下未悉)

通九七七五六

協作 (七八七五KC) KFGB放

新倉(阿波)



五、國トウグンニ於ケル敵ノ整備セル飛行場

(1) 「オシナ」附近ニ於テ幅 117 米 長さ 800 米ノ滑走路目下使用シ「アラス」。

伏スベキヲ命ジアリ

三、第三遊撃隊約五〇〇名ハ「タニヨ」ケ「名護」ダケ「カイジ」ダ

ケヲ根據地トシ又第四遊撃隊約四〇〇名ハ「オシナ」ダケニ位置シ

夫夫住民ノ支援ヲ得テ活潑ニ遊撃中隊方軍ヘノ遊撃ハ警戒嚴ニシテ

灣入困難ナルモノノ如シ 尙「オシナ」ダケニハ飛行場大隊其ノ他

海軍部隊約四〇〇名アリ

三、第一九聯隊長地區隊舟艇「青柳」中佐ハ配屬歩兵一中隊ヲ基幹トス

ルモノヲ指揮「名」岳ニ移リ次イデ再「石川」岳ニ進出逐次復歸部

下ヲ掌握シツツ戰國準備中

四、右状況ヲ綜合スルニ目下「石川」岳以北國東郡ノ我が兵力ハ「七〇

〇」名ト推定ス隨時敵ハ之ニ近接熾烈ナル遊撃戰ノ全面的展開ヲ命ジ

アリ

五、國トウグンニ於ケル敵ノ整備セル飛行場

(1) 「オシナ」附近ニ於テ幅 117 米 長さ 800 米 滑走路目下使用シ

(2) キンブ島北側目下800m築成完成ニハ  
相当困難ヲ伴フベシ

1504

アラズ

一「キンブ島」北側目下800米築成完成ニハ相当困難ヲ伴フベシ

二「コ我知」北側距離不明

三「前田」セイオケヤ」築成

四「伊江島」未ダ使用シアラズ飛行機ノ補給東北ヨリ「金武島」上

空ヲ經テ行ハレアリ

六「キンブソン」コヘンテイ」ニ大築積所アリ

七「イケ」島「ヘイアンザ」島「ハマヒカ」島敵ナシ

八「高リ」島「ツケン」島ニハ兵力不明ノ敵有リ「ツケン」島「セ

ウレン」半島間防備網構成シツツアリ「コクトン」方面ノ住民土着

ノ者ハ山中ニ避難ス我が勢力範圍内ニアルモ「コクトウ」及「島ジ

リ」方面ヨリ避難セルモノハ食糧難ニ依リ大敵ノ勢力範圍内ニア

リテ其ノ給養ヲ受ケアリ。

目

5-18

1505

五 一八 受信一四四六  
譯始一四二五

譯了一四五五

電〇九〇二二  
〇九〇二四

作概

昭和廿年五月拾九日

緊急

聯合艦隊中、五航空艦隊、東通

一八一〇七三〇

通電先 參謀次長 靖 隼 誠 球 聯合艦隊 五航艦 臺灣航

臺參情電第四〇五號 其ノ一二

敵信傍受ニ依レバ沖繩周邊ノ敵ハ煙幕資材缺乏ヲ訴ヘテ我ガ航空特攻ノ  
好機ト判斷セラルルノ十七日二〇一四及二〇四五ノ二回ニ亙リ指揮官坐乗艦  
ヨリ隸下艦隊ニ際シ煙幕展張セザル理由詰問ナルニ對シ煙幕資材ヲキチ返  
答セリ

通一〇〇一九 一〇〇八三 協作一三三二〇〇〇 高通 谷島(河田)

5-17

1506

KDB 沖



五 一七 受信 始 一九七三五 譯了 一九四〇 電〇八八〇三 作 概

局長	一課長		
A	二課長	三課長	四課長
B	五課長	六課長	七課長
E	八課長	九課長	十課長
J	十一課長	十二課長	十三課長
G	十四課長	十五課長	十六課長
M	十七課長	十八課長	十九課長

一六八四四

球多情報第一三一號 其ノ一

十六日一八〇〇地上戦況早朝來依然嘉手納戦國概況ハ昨十五日ト同  
様ノ激戦ヲ展開シアリ我が必死ノ防戦ニ敵ニ日日多大ノ出血ヲ強要  
攻撃中 右翼及中央ニ於テハ。

（電信課註 本電其ノ二以下未着）

通九六八三 協作 (B) 佐世保 岡野 (阿波)

昭和廿年五月拾八日



5-15 409T

五一五 受信 〇〇四四一  
譯始 〇四五八  
譯了 〇五四九  
電 〇七二六八  
航作 〇  
本 〇  
昭和廿年五月拾六日

傍

夕才五九四 一四一三〇三〇

参考 仲根

球參電第三六四號

明十五日沖繩本島降雨ノ模様ナリ夜間着水困難ナリ連絡線ハ爲シ得ル  
限リ晝間派遣方取計ヘン度。

通八二〇二

協作 (三九二七) 五〇〇一三三〇 坂田

5-17, 18

1508

停

五  
一  
一  
七

聯合艦隊



受信開始  
〇七五〇  
〇九〇二七

作概〇

昭和廿年五月拾九日

一六一一八一〇

球参軍第三八〇號其ノ一

一軍ハ狀況ヲ判断シ線力ヲ擧ゲ北面ヨリ「首里」東西ノ線ニ最後ノ豫備

ヲ投入シツツ敵陣中ナルモ、現兵力ノ保持逐次至難トナリ將ニ組織

的ニ戰略持久ハ終セントス。

東通註註本電問台セノ爲遲延

通九六九八 協作(B)佐通

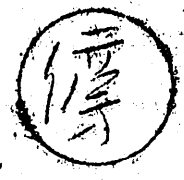
稻岡(山中)

5-17

1509

昭和廿年五月拾八日

五一七 受信一七二四 譯始一八四〇  
譯了一九四〇 電〇八六三八 作稿〇



聯合艦隊印

一六一一八四〇

球參電第三八〇號其ノ二

一度現態勢ニ朝レ軍ガ地域の遊撃戰若ハ狭小ナル「首里」地區復  
陣地ノ使用ニ至リ野戰陣地ハ永遠ニ失スルモノト。

〔電信譯註 本電其ノ三四射配布〕

通九六八一 協作 (B) 佐世嶽

清水(川口)

5-17

1510

五 一七 受信〇九四三 譯了 一一二〇 電〇八五五八  
譯始 一〇〇九 〇八五五九 作概〇

昭和廿年五月拾八日

緊急



聯合艦隊

一六一一九〇〇

キウ參電第三八〇號其ノ三四

三此ノ重大轉機ニ 於テ航空作戰從來大戦果ヲ擴大之レヲ勝利ニ導ク

爲ニハ實行至難シアルモ機軸左ノ如ク 策ヲ殘サレアルト存ゼラレ至

急方面軍及中央ノ作戰方針率直ニ披瀝サレ度

(一) 武器ナキ二萬五〇〇ノ戰鬥員ニ對スル急速兵器ノ空輸

(二) 日航、滿航、中華其ノ他動員可能ノ 全空輸機ヲ以テスル精

銳歩兵簡大隊ノ緊急落下傘投下。

(電信課註、本電其ノ一、二未着)

九四七四  
九四七五

協 作

(B) 佐世保

谷島(川口)

5-17

1511

傍

五一七 受信始一九三〇八 譯了二〇二〇 電〇八六五五 作 概〇

聯合艦隊

一六一一九五〇

通電先 參謀本部 臺灣軍

參考 G F

球參電第三八〇號 兵ノ五

(三) G F 第八飛行脚圖ノミニ依ルコトナク速ニ軍全航空兵力ヲ本島周邊ノ敵艦船撃破ニ。

「電信譯註

本誌其ノ二三號迄配布 其ノ一未着」

通九六七七

協 作 (五二〇〇〇〇) 佐通

岡野 (秘田)

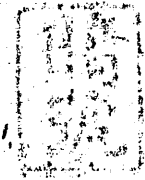
續

年五月拾八日

五一七 受信一八七〇〇 譯了一八四〇 電〇八六三七 作概〇



聯合隊戸



二六一一八四五

通電先 臺灣軍

参考 參謀本部、G F

球參情電第五五七號其ノ二

良ク應戰侵入ヲ阻止シアルモ左翼ニ於テハ未ダ其ノ銳鋒ヲ坐折ヤシム  
ルニ至ラズ果敢ナル以テハ遮無ニ「那覇」市北側ニ進出シツツアリ軍ノ  
企圖變化ナシ。

(電傳誤註 本電其ノ一未着)

通九六七五 協作部甲四 (B) 佐道

昭和廿年五月拾八日

清水 (岩山)

5~14

1513

作

五一四 陸軍ヨリ受

電〇七三四六 航作 航本〇

昭和廿年五月拾六日

秘

球參情報第六四七號

參謀次長・聯合艦隊。一、五各航空艦隊。靖。誠。軍

喜

慶良間泊地状況

第五海上海進基地隊長三浦少佐渡嘉敷島ヨリ五月十三日歸還報告

一、泊地利用状況

慶良間海峡 平瀬岩以北故障艦船修理泊地五月上旬十隻復在リ

同右以南碇泊地ニシテ空母戰艦以下五月上旬中型船十隻隻小遊船

約二〇隻在リ空母ハ碇泊地ニ入ルコトアルモ夜間ハ南方ニ退

(吉井)

避ス 南緯ニ北ニハ防潜網敷設シアリ

阿嘉海 水上機基地五月上旬約三〇機在リ

二我カ防空特攻ニ關聯

一座間味島赤瀬岳電探在リ我カ航空攻撃機ホ二十分前ヨリ山上

帯ヲ全ク煙化スルト共ニ全艦艇ヨリ熾烈ナル對空砲火ヲ浴ビテ

リシモ五月上旬來對空火力衰ヘ一部ノ艦艇ヨリ行フニ過ギズ

煙化モ行ハレザルニト多ク煙化スルモ局部的ニシテ妨害施設防

空施設ヲ準備中ト判斷セラル

二我カ航空攻撃ヲ受ケル敵艦船ハ各々島寄りニ疎開ス

三慶良間島ニ於テ戰ヲタル時攻撃果五〇隻ヲ下ラス

四渡嘉敷島東方海岸ニハ無數ノ敵死體漂着シアリ



5-18

1515

陸海



五一八 受信一〇〇二五  
作戦特別察急

譯了一二三五 電〇九〇〇五 作

昭和廿年五月拾九日

一七一七〇〇

球多情報第六五 續其ノ一

十六日薄暮十七日拂曉迄「沖繩」本島周邊ニ於ケル特攻隊戦果  
確認左ノ如シ

一「那覇」海面一九三〇火柱二 二三四九炎上

（電信線註 本電其ノ二以下未着）

通一〇〇〇三 協作（七八七五）一KFGB故 小森（小澤）

昭和廿年五月拾八日

五 一六 受信〇八三五 詳了〇九〇〇 電〇八三九八 作〇

緊急



聯合艦隊

一五一二〇〇〇

球參情電第六號其ノ三  
激戰中ニシテ右翼及中央於テハ嚴シテ敵ノ攻勢ヲ破碎シツツ  
ルモ敵ノ強壓ハ依然「天久臺」南部「那覇」ニ指向セラレ軍ハ後方部  
隊ヲ投入之ガ確保ニ努力中ナルモ

〔電信誤註 本電其ノ一三四五既配布〕  
〔東通註 本電開始符不明電照ノ爲遲延〕

通八八一八 協作 佐通 村尾(三石)

五一七 受信一八三〇三 詳一九〇〇 電〇九〇〇七 作 概

聯合艦隊

傍

一六一一〇

球珍情電第六五五號其ノ一

十六日〇三〇〇ヨリ〇五〇〇迄「沖繩」本島周邊ニ於ケル特攻隊ノ

戦果確認左ノ如シ

「嘉手納」四方海面 〇三二〇ヨリ〇四三五ノ間。

「電信誤註 本電其ノ二既配布其ノ三以下未着」

通九六七六 協作(五二〇〇)(佐通 桐野(小池)

昭和廿年五月拾九日

5-16, 17

五

一六  
一七  
譯始〇四二〇五

譯了〇七〇五 電〇八五五七

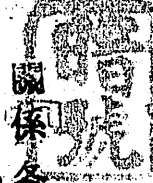
作 概

昭和廿年五月拾八日



一六一一、一五

通電先



關係各所

球參情電第六五五號

其ノ二

艦種不詳轟沈一炎上一北飛行場〇三二〇・〇三五〇(爆彈約三〇發

投下)各大爆發一。

(電信課註 本電一及三以下未着)

通九二二一

協作(七八七五KO)一KFGB放小森(小幡君)

5-19

1519

五一九 受信 〇〇五三九  
作戦特別緊急

譯了 〇九四八

電 〇九四〇五

作

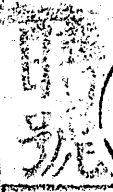
稿

昭和廿年五月廿日



聯合艦隊司令部

一八一—五三〇



球參情電第六五八號其ノ一  
特攻隊成果確認

二十八日「那覇」西北方海面一一三〇B一機沈C一C又ハD  
〇送種不詳大型二炎上中(内一沈没)。  
炎上沈没

電信線註

本誌其ノ二以下未詳

一〇五二二

協

作

(三九三六五七)

一MFBP文

管理(自送)

)

5-17

五一七

受信二二〇〇

譯了二三〇〇

電〇八八〇四

作概

昭和廿年五月拾八日



聯合艦隊

一七一二〇〇

通電作 關係各所

球多情報第六五八號

其ノ二

一「嘉手納」沖二二五八、二三〇五對空射擊音

三「慶良間」列島周邊二二五五、二三一六、二三二四、二三三九對

空射擊音

(電信課註

本電其ノ一未着)

通九七八五

協作

(五二〇〇KC) 佐通

谷島(阿波)

人

作戰緊急



聯合艦隊



五一八

受信一六四  
始一六一一

譯了一六二五

電〇九三二二  
〇九三二三

作 稿

昭和四年五月廿日

一七一—一八四〇

通電先

海軍

參 考 參謀本部 聯合艦隊

球參情電第六五九號其ノ三、四

當面ノ敵兵力ハ依然第七、第七七海兵第一同第六ノ四個師團ナルヲ

如キモ第七師團正面ニハ新ナル兵力投入セラレタルヤノ徴アリ

且相當ノ打撃ヲ受ケツキ未ダ攻力ハ熾烈ナリ五月十四日以降五月

十六日夕刻迄ハ判明セル戰果中ニ左ノ如シ

人員殺傷約六〇〇本隊三分ノ一ニ炎上六 火砲發射六 迫撃砲發射二五

一〇〇〇五 協作 一五二〇〇 片山 衛生

5-18, 19

1522

五 一八 受信二三四〇  
一九 譯始〇二〇〇

譯了〇二五五

〇〇九九二五二

昭和廿年五月廿日

作概

急

一八一〇〇三〇

通電先 關係各所

球參情電第六六〇號 其ハ一二

十七日薄暮ヨリ二四〇〇迄沖縄本島周邊ニ於ケル特攻隊ノ域果

左ノ如シ

強襲爆彈命中音聞クモ濃霧ノ爲確認シエズ

一「ケラマ」列島二一四三、二二〇〇、二二〇四、二二三三、二三〇五

二北飛行場二二四五、二二五八。

三〇〇〇五 一〇四二三 協作(七八七五) K F G B

谷( ) ( )



1523 5-19

停

五一九 受信一〇五〇六 譯了一〇四九 電〇九四〇六 作 檄

附

一八一—五四五

通電先 關係各所

球參情電機〇六六一號 其ノ二

雷擊機二ノ攻撃可能

三十七日空間「渡嘉敷」南方ニ於テ大型艦二艘沈セリ (特設巡洋艦)

(雷信課註 本會其一乃其三以下未着)

通一〇五一三 協作甲四 (三九三七五 KC) 一 K F G B 放 大石 (小艦)

昭和廿年五月廿四日

昭和廿年五月廿日

五五 一九 受信〇〇五五七五 譯了〇七〇一 電〇〇九四〇〇四 作 概

作特緊急



聯合艦隊口

一八一 二三一五

球參情電第六六二號 其ノ一二

十八日一九〇〇地上概要

一、朝來依然トシテ「ウンギヨクモリ」六〇、五高地一五〇高地「永峰」  
北方高地「大メウ、末吉」五七、三高地「眞嘉比五一、七高地各據點  
陣地ニ於テ戦闘中ニシテ右翼方面ニ於テ敵一五〇高地ハ昨夜奪回セル  
モ〇九〇〇頃再ビ敵ニウマノリセラレ本日ノ戦闘焦點ハ該方面ニ在リ  
「大メウ」以西ニ於テハ既ニ攻勢ハ一時屯坐セルモノノ如ク概シテ緩  
漫ニシテ我。

(電信課註 本電其ノ三以下未着)

通一〇五〇八 一〇五一 佐B 協作

村尾 (川口)  
清水

1524

5-19

五 一九

受信一七〇三七

譯了一七五五

電自九五五八

作 概

昭和廿年五月廿四日

緊急



聯合艦隊中

一八一三三一

通電先 臺灣軍

參考 參謀次長 聯合艦隊

球參情電第六六二號其ノ三四五

戰車數輛乃至一〇數輛若干隨伴步兵ヲ伴ヒ各陣地ニ對シ破壊射撃ヲ

實施セリ

三 獨立混成旅團四旅團ノ「天久」臺灣陣地ハ一時危急ヲツゲタルモ「マ

カヒ」以テ功妙ナルハンシヤメン陣地ノ作用ヲ失シ我ガ砲兵ノ同臺

上ニ對スル猛威ト第一線ノケン闘ニ依リ昨日來小康狀態（一誤受降）

三 軍ハ海軍編成ノ二箇大隊ヲ混成旅團ニ兵器セウ及兵站編成ノ各一大隊

ヲ第二四師團ニ增加軍總豫備トシテ兵器セウ編成ノ一聯隊ヲ「ツカ

山」附近營據シアリ。一電信ヲ註 本電其ノ一二既配布

通一〇六六六一 通一〇六六五 協作（九八三〇）一佐二放 谷直（五島）

5-19

停



五一九 受信一六一二 譯了二三一〇 電〇九六八八 參作 本概

夕ナ五九四 一九一四一四五

通電先 關係各所

球參情電第六六四號

十八日?日?沒?進?攻?十九日拂曉迄ニ於ケル特攻隊ノ戰果確認左ノ如  
シ「嘉手納」西方海面二一二五・二二〇〇。二二一五火柱各一  
中城灣一八九四五對空射擊音。

通一〇七一一七 協作(七八七五K) KFGB放 久保田(細川)

昭和廿三年五月廿四日



緊急



聯合艦隊

一九一二年二月二十五日

五二〇 受信一〇〇一九〇 譯了 一〇五五 電〇九八八三 參作 本概

球參情電第六六七號其ノ二  
更ニ攻撃ヲ準備中ナルモノノ如シ 今ヤ軍ハ敵上陸以來先ズ第九六  
第七兩師團ニ大打撃ヲ與ヘ次テ戰線ニ加入セル第二七師團ニ大出血ヲ  
強要シ。

電信課註 本電其ノ一三四五六七以後未着

通一一〇七二 橋作 佐適 片山(川口)

一三三三三三

5-20

五二〇

受信一六四二  
開始一八一〇

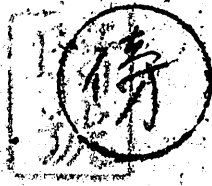
譯了一九四〇

電一〇〇一七三

作概

緊急

聯合艦隊



一九一三三二六

通電先 參謀總長

參考 參謀本部 聯合艦隊

球參情電第六六七號其ノ四ハ

十日前後ヨリ我ニ猛攻ヲ加ヘ來ル海兵隊三團主力海兵第六七及第二

ハ一師團ニ對シ該部隊ハ當初克ク捕撃ヲ加ヘテ一艦其ノ銳鋒ヲ破碎

セリ敵ノ作戰企圖ヲ破碎スルコト難事ニ非ズ沖軍ハ一艦ニ號作戦ノ成

功ヲ確信士氣軒昂譽軍渾身ノ勇ヲ奮ヒ初メ敵ノ攻勢ヲ斷手破碎セン

コトヲ期シアリ

通電 (電信課註) 本艦隊 (三) 信 (五) 作 (六) 電 (四) 〇 (三)

一一二二三

(三) 〇 (三)

鹿屋航空基地

中田、小松(横田)

昭和十一年五月廿五日

371